

齋賀医院壁新聞

文献情報と院内案内 齋賀医院ホームページに戻る場合戻るボタンをおしてください

検索ボックス

[<< アレルギー検査の限界 | TOP | 褐色細胞腫の診断法 >>](#)

2017年09月19日

<< 2022年07月 >>

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|-----------|-----------|-----------|----|-----------|----|
| | | | | | <u>1</u> | 2 |
| 3 | <u>4</u> | <u>5</u> | 6 | 7 | <u>8</u> | 9 |
| 10 | <u>11</u> | 12 | <u>13</u> | 14 | <u>15</u> | 16 |
| 17 | 18 | <u>19</u> | <u>20</u> | 21 | <u>22</u> | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 31 | | | | | | |

最近の記事

[\(07/22\)心不全治療薬のエンレストは万能薬か？](#)

[\(07/20\)オミクロン株の変異の猛威](#)

[\(07/19\)インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行の懸念](#)

[\(07/15\)C型肝炎のウイルス治療後でも肝がんの発生に注意](#)

[\(07/13\)今季のインフルエンザワクチンの推奨](#)

最近のコメント

成人における重症、治療抵抗性の喘息について

成人における重症、治療抵抗性の喘息について

Severe and Difficult-to-Treat Asthma in Adults
N Engl J Med 2017;377:965-76



← これは僕

小児の喘息はアレルギー性で80%が治癒しますが、成人の場合は感染性で逆に20%しか治癒しないと言われています。滲出する炎症細胞もアレルギーでは好酸球で、炎症が誘因の場合は好中球が一般的とされています。

今回、NEJMより成人における重症例や、ステロイドなどの一般的な治療に抵抗性の(difficult)喘息に対する概念と治療方針とが載っていましたので、纏めてみました。

1) 治療抵抗性とは、高濃度のステロイド吸入や他の治療を行ってもコントロールが困難の症例で、

[オミクロン株の変異の猛威](#) by (07/21)
[オミクロン株でグループ症候群は起きるのです。その2](#) by (06/06)
[糖尿病治療薬GLP-1作動薬と胆嚢疾患](#) by (04/26)
[4回目の接種・イスラエルからの2つの報告](#) by (04/26)
[モデルナワクチンのブースター効果・その2](#) by (02/04)

タグクラウド

カテゴリ

[小児科](#)(223)
[循環器](#)(247)
[消化器・P P I](#)(147)
[感染症・衛生](#)(276)
[糖尿病](#)(128)
[喘息・呼吸器・アレルギー](#)(99)
[インフルエンザ](#)(106)
[肝臓・肝炎](#)(62)
[薬・抗生剤・サプリメント・栄養指導](#)(51)
[脳・神経・精神・睡眠障害](#)(47)
[整形外科・痛風・高尿酸血症](#)(32)
[ワクチン](#)(73)
[癌関係](#)(11)
[脂質異常](#)(28)
[甲状腺・副甲状腺](#)(19)
[婦人科](#)(10)
[泌尿器・腎臓・前立腺](#)(41)
[熱中症](#)(7)
[日記](#)(23)
[その他](#)(80)

過去ログ

更なる治療方針の検討の必要性がある場合をいいます。
重症とはその概念の一部を指し、前年の約半分がコントロール困難な症例としています。
アメリカでは喘息の中で3~10%がそのような状態で、糖尿病や脳卒中の医療費を凌駕しているとの
事です。

2) 治療抵抗性とされている中で、50~80%が薬をきちんと服用していないか、あるいは吸入の仕方の不具合が指摘されています。

3) 生物学的製剤を使用する前に、持続性抗コリン作動薬（シーブリ、スピリーバ吸入）を用いるべきだ。
また経口ステロイドは出来れば避けたい。

4) 病態としては下記の概念がある。 （下記のPDFの図を参照）

a) 持続性タイプ2炎症（type 2 helper T (Th2) cellsの関与）
type 2 helper T (Th2) cells とそれに誘導された自然免疫機構が関与して、その関係の
サイトカインが作動している。
軽症喘息では吸入ステロイドにより気道への好酸球浸潤は抑制されるが、重症例では痰の好酸球
は吸入ステロイドを行っても依然として多く認められる。この事が重症例、つまりステロイド抵抗性
を示唆する。
アトピーとは関係あるが、他のアレルギー性疾患とは関連性が乏しく多くが成人発症例
であり、
気道過敏が関与している。 婦人の肥満も関連視されている。

b) 好中球関連炎症
喀痰に好中球が多く存在する。（ステロイド吸入との関係もあるかもしれない。）
副鼻腔炎、職業、タバコが指摘されている。
軽症~中等度の場合は好酸球がなく、好中球が主体ではステロイド吸入の反応は迅速ではない。
しかし重症例に関しては不明。
抗生剤のマクロライドの使用が検討されているが、未だはっきりしたエビデンスはない。

c) 混合タイプ
喀痰に好中球と好酸球が存在する。

[2022年07月](#)(10)
[2022年06月](#)(15)
[2022年05月](#)(15)
[2022年04月](#)(14)
[2022年03月](#)(15)
[2022年02月](#)(14)
[2022年01月](#)(16)
[2021年12月](#)(14)
[2021年11月](#)(17)
[2021年10月](#)(17)
[2021年09月](#)(13)
[2021年08月](#)(16)
[2021年07月](#)(12)
[2021年06月](#)(16)
[2021年05月](#)(16)
[2021年04月](#)(14)
[2021年03月](#)(18)
[2021年02月](#)(19)
[2021年01月](#)(16)
[2020年12月](#)(17)
[2020年11月](#)(15)
[2020年10月](#)(17)
[2020年09月](#)(19)
[2020年08月](#)(14)
[2020年07月](#)(17)
[2020年06月](#)(14)
[2020年05月](#)(21)
[2020年04月](#)(18)
[2020年03月](#)(18)
[2020年02月](#)(18)
[2020年01月](#)(19)
[2019年12月](#)(14)
[2019年11月](#)(15)
[2019年10月](#)(18)
[2019年09月](#)(18)
[2019年08月](#)(14)
[2019年07月](#)(14)
[2019年06月](#)(16)
[2019年05月](#)(14)
[2019年04月](#)(18)
[2019年03月](#)(19)
[2019年02月](#)(19)

気道の狭窄などの困難な病態が存在する。

d) その他

喀痰に炎症性細胞が少ない場合や、気道のリモデリング（構造変化）の場合もある。

5) 治療

下記のPDFの表をご参照ください。

生物学的製剤がほぼ40%の効果のようです。

しかし論者はしっかりした病態を把握して（タイプ2かそうでないか）患者選択をすべきとして

います。

私見)

治療抵抗性と考える前に、患者さんの服用の仕方のチェックが大事なようです。

生物学的製剤は高価な点もあり、本院では経験がなく今後の検討課題とします。（NEJMでも効果あり

との論文が掲載されています。）

[重症喘息.pdf](#)

0

0

いいね!

ツイート

ブックマーク

【喘息・呼吸器・アレルギーの最新記事】

[雷雨は喘息発作を誘発する](#)

[喘息のレスキューにアルブテノール+ブデソ..](#)

[喘息のレスキューにアルブテノール+ブデソ..](#)

[潜在性結核感染症](#)

[急性細気管支炎](#)

[2019年01月](#)(15)

[2018年12月](#)(16)

[2018年11月](#)(20)

[2018年10月](#)(20)

[2018年09月](#)(18)

[2018年08月](#)(24)

[2018年07月](#)(18)

[2018年06月](#)(18)

以降はカテゴリーで検索してください。

[RDF Site Summary](#)
[RSS 2.0](#)

posted by 斎賀一 at 20:45 | [Comment\(0\)](#) | [喘息・呼吸器・アレルギー](#)

この記事へのコメント

